

## パブリック・コメントで寄せられたご意見の要旨と本市の考え方

ご意見の要旨	本市の考え方
その他（検査・相談体制について）	
<p>エイズが大流行してからでは遅いので、保健所統合について見直し、検査や相談体制の充実のためにも、各区に保健所を設け直すようにしてほしい。コロナの教訓をエイズ対策でも生かしてほしい。</p>	<p>本市では、平成12年度に市内に1か所の保健所を設置し、市域全体で実施するほうが効果的な業務や専門性の高い業務については保健所へ集約し、各区にあった保健所は保健センターと位置づけ、住民に身近な保健サービスを提供していくこととしました。その後、平成15年度に保健センターは保健福祉センターに再編され、現在1保健所、24区保健福祉センターによる地域保健体制のもと、役割分担と相互連携をしながら保健衛生事業を総合的、効果的に実施しているところです。</p> <p>H I V・性感染症等の検査・相談体制については、相談はすべての保健福祉センターで実施しており、H I V等検査は受検者ニーズを重視し、北区・中央区・淀川区の3区保健福祉センターにおいて平日昼間に実施（北区においては第5金曜日に夜間検査も実施）しております。</p> <p>さらに、大阪府との共同委託検査場である大阪検査相談・啓発・支援センター「chotCAST」では、平日夜間や休日昼間に検査を実施しております。</p> <p>引き続き受検者ニーズの把握に努め、より受検しやすい体制整備を図ってまいります。</p>
その他（用語のアルファベット表記について）	
<p>多くの日本人に分かるように、「MSM」Men who have sex with men（男性間で性的接触を行う者）や「SW」性風俗産業の従事者（セックスワーカー）などのアルファベット表記を日本語表記に改めてほしい。ソーシャルワーカーも「SW」になる。</p>	<p>アルファベットやカタカナ表記、専門的用語、略称等については、日本語表記や用語解説等の説明を掲載しておりますが、ご意見をふまえ、再度全体を見直し、特に分かりにくい用語については修正を図ります。</p>